

沖縄、オスプレイ

翁長知事、オスプレイ撤去要求 小野寺防衛相と初会談
琉球新報 2017年8月15日 07:30



小野寺五典防衛大臣（左）と会談する翁長雄志知事＝14日午後、県庁

小野寺五典防衛相は14日、就任後初来県し、翁長雄志知事と県庁で会談した。知事が米軍普天間飛行場所属の垂直離着陸輸送機MV22オスプレイがオーストラリア沖で墜落した事故に触れ、配備撤回を要求したのに対し、小野寺氏は「オスプレイは安全保障上、大変重要な装備だ」と応じなかった。その上で「引き続き安全な飛行を（米側に）求めたい」と述べた。米軍嘉手納基地の旧海軍駐機場が移設後も継続使用されている問題で、知事が同駐機場の使用中止を求めたのに対し、小野寺氏は近く開かれる日米の外務・防衛担当閣僚による安全保障協議委員会（2プラス2）で議題として取り上げる意向を明らかにした。

翁長知事は会談で辺野古新基地建設の断念、普天間飛行場の5年以内運用停止と危険性除去、日米地位協定の抜本改定など14項目を要請した。

辺野古新基地建設について小野寺氏は「普天間の固定化はあってはならない」などと述べ、工事を続行する考えを改めて示した。

小野寺氏は日米地位協定の改定要求については、協定自体の改定ではなく、個別の問題が生じた際に関連する補足協定を締結して対応する方針を示した。

今回の要請で県は新たに（1）嘉手納基地でのパラシュート降下訓練の禁止と旧海軍駐機場の使用禁止（2）事件・事故発生の際に政府、米軍、県による新たな協議会の設置（3）基地から派生する環境問題の解決一を加え、対応を求めた。

小野寺氏は知事との会談に先立ち、糸満市の平和祈念公園を訪問した。その後、在日米軍のシュローティ副司令官らと那覇市内のホテルで非公開で意見交換した。小野寺防衛相は会談後、オスプレイ飛行に関する沖縄側の不安の声を米側に伝えたと言明した。

しんぶん赤旗 2017年8月16日(水)

平和と友情の船「進水」新基地建設に反対 新監視船「ウマンチュ」 広島→沖縄到着



(写真) 被爆地、広島から辺野古のたたかいで使ってほしいと届けられた新監視船「ウマンチュ」進水の集い＝15日、沖縄県名護市汀間

新基地をつくらせない—沖縄県名護市辺野古と大浦湾での政府による違法工事に抗議し、監視する海上行動で使ってほしいと、被爆地の広島から到着した新監視船「ウマンチュ」の“平和な日本をめざす連帯と友情の船 進水の集い”が15日、大浦湾の汀間（ていま）漁港近くで行われました。

白とブルーの船体を紅白幕で巻き「ウマンチュ」と鮮やかに浮かぶ深紅の文字。沖縄の方言で「万人」を意味します。

汀間川の一角に陸揚げされた「ウマンチュ」を囲むようにヘリ基地反対協議会の関係者や、海上での抗議監視行動からかけつけた人々が、船体をなでたり、船外機に笑顔近づけて「馬力がありそうだ」などの声をあげたりしました。

「集い」では、船と船長の無事を願って日本酒とシャンパン、米をふりかけ、一斉にクラッカーを鳴らして安全を祈願しました。

平和丸船長で仲本興真・県商工団体連合会会長が「今日は、終戦の8・15記念日、新しい世の中をめざす日に、正念場を迎えた辺野古のたたかいに被爆地から届いた『ウマンチュ』でがんばりたい」と感謝をこめてあいさつ。

広島からかけつけた福山民主商工会の川崎衛、藤井賢次郎両副会長が「1年間かけて準備してきた。ぜひ平和のために使ってほしい」「この船で辺野古の海と平和を守ってほ

しい」と被爆地からの思いを語り、大きな拍手に包まれました。

地元、江間区の新名善治区長もかけつけ、「この地まで、使ってほしいと船を届けていただき感謝に堪えない。皆さんの力をかりて、必ず（新基地を押し付ける）安倍政権を打ち負かすために頑張りたい」と力を込めました。

東恩納琢磨市議（無所属）が16日からの新基地反対の要請訪米への決意を述べました。

沖縄・北方相補佐官、島尻氏を再任 沖縄振興策など担当 日経新聞 2017/8/15 16:58

政府は15日の閣議で、江崎鉄磨沖縄・北方相の大臣補佐官に同日付で島尻安伊子元沖北相を充てる人事を決めた。島尻氏は鶴保庸介前沖北相の下でも補佐官を務めていた。沖縄での子どもの貧困対策を中心に振興策を手がける。江崎氏は閣議後の記者会見で「島尻氏の実績を見て任命した」と述べた。

北海道知事「安全管理徹底を」＝オスプレイ訓練参加で

北海道の高橋はるみ知事は15日、在沖縄海兵隊の輸送機オスプレイが、道内で実施中の日米共同訓練に18日から参加することについて「道民の安全安心を確保する観点から、安全管理の徹底が図られるよう万全を期していただきたい」と政府に求めた。札幌市内で記者団に語った。（時事通信 2017/08/15-19:16）

オスプレイ、18日から訓練参加 夜間飛行も、北海道 共同通信 2017/8/15 23:35



北海道で実施されている日米共同訓練にオスプレイが参加することを発表する小野寺防衛相＝15日午後、防衛省

小野寺五典防衛相は15日、米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の新型輸送機オスプレイが18日から、北海道大演習場（千歳市など）を中心に実施中の陸上自衛隊と米海兵隊との共同訓練に参加すると明らかにした。オスプレイは16日に三沢基地（青森県三沢市）に飛来。最大6機が展開し、夜間飛行も計画している。豪沖での墜落事故を受け、北海道など関係自治体はオスプレイを訓練に参加させないよう求めており、地元の反発が強まりそうだ。

小野寺氏は防衛省で報道陣に「訓練参加には重要な意義がある。米側には安全面に最大限配慮し、住民に与える影響を最小限にとどめるよう求めたい」と述べた。

オスプレイ、日米共同訓練参加へ...最大6機

読売新聞 2017年08月15日 18時25分

小野寺防衛相は15日、沖縄県の米軍普天間飛行場所属の輸送機「オスプレイ」が、北海道で行われている日米共同訓練に18日から参加すると発表した。

同飛行場所属のオスプレイが5日、オーストラリア沖で墜落した事故を受けて、政府は日本国内での飛行自粛を要請したが、米側が必要な措置を講じたとして11日に飛行再開を容認していた。

小野寺氏は防衛省で記者団に「訓練に参加することは重要な意義がある。米側には飛行に際し、安全面に最大限配慮するとともに地域住民に与える影響を最小限にとどめるよう求めていく」と述べた。

訓練は10～28日の日程で、北海道大演習場（北海道恵庭市など）などで行われている。オスプレイが最大6機参加する予定で、兵員や物資の輸送訓練を行うほか、夜間飛行訓練の実施も調整している。

オスプレイ18日訓練開始 道などに説明 夜間飛行も 計画

北海道新聞 08/16 01:49 更新



小野寺五典防衛相は15日、道内で行われている陸上自衛隊と米海兵隊の日米共同訓練に、米軍の新型輸送機オスプレイが18日から参加すると発表した。夜間訓練も計画しており、北海道防衛局は15日、道や演習場の地元自治体に対して参加方針を説明した。オーストラリア沖での墜落事故の詳細が明らかにされないまま、国内での飛行容認に続く地元の頭越しの政府判断に対し、道内の反発が強まるのは必至だ。

小野寺氏は防衛省で記者団に対し、オスプレイについて「米は日本や東アジアの安全保障にとって重要な航空機と位置づけている。（道内の）訓練に参加することには重要な意義がある」と強調。北朝鮮情勢の緊迫を踏まえた米側の要請に応じたとみられる。

オスプレイが参加する訓練は、北海道大演習場（恵庭市、千歳市、北広島市、札幌市）と上富良野演習場（上川管内上富良野町、中富良野町、富良野市）で26日まで計画。参加するのは最大6機で、16日に拠点となる米軍三沢基

地（青森県三沢市）入りする。

【続きあり】

オスプレイ、18日から訓練参加＝防衛相「日米に重要な意義」

防衛省は15日、在沖縄海兵隊の輸送機オスプレイについて、米側と調整した結果、北海道で実施中の日米共同訓練に18日から参加すると発表した。共同訓練は28日までで最大6機が参加する。日米両政府は沖縄の基地負担軽減へ向けオスプレイの訓練について、県外での実施推進で合意しており、防衛省は今回もその一環と説明している。

小野寺五典防衛相はオスプレイの訓練参加について防衛省で記者団に「米側は日本や東アジアの安全保障に重要な航空機と位置付けており、わが国にも重要な意義がある」と強調。米側に「安全面に最大限配慮すると共に、地域住民に与える影響を最小限にとどめるよう求めていく」と述べた。（時事通信 2017/08/15-17:41）

オスプレイ、18日から参加へ 北海道で日米共同訓練

日経新聞 2017/8/15 16:57

防衛省は15日、北海道で実施している日米共同訓練に18日から米軍新型輸送機オスプレイが参加すると発表した。オーストラリア東部沖での5日のオスプレイ墜落事故を踏まえ、日本政府は6日に国内での飛行自粛を要請していた。その後、米側から「機体に欠陥はない」との調査報告を受け、11日には飛行を認める方針を公表していた。

安倍晋三首相は15日、首相官邸で小野寺五典防衛相からオスプレイの訓練参加について報告を受け、「安全面に十分注意して対応してほしい」と指示した。

訓練に参加するオスプレイは6機で、兵員の輸送などにあたる。共同訓練は陸上自衛隊と米海兵隊が10～28日に実施する。オスプレイの参加が当初予定から遅れたため訓練内容を一部変更する。

小野寺氏は15日、防衛省内で記者団に、オスプレイについて「米国は東アジアの安全保障にとって重要な航空機と位置付けている。訓練参加は意義がある」と強調した。

しんぶん赤旗 2017年8月16日(水)

オスプレイ参加強行へ 北海道 日米共同訓練 事故原因は「調査中」 18日から

防衛省は15日、沖縄県の米海兵隊普天間基地（宜野湾市）所属の垂直離着陸機MV22オスプレイについて、米側と調整した結果、北海道で実施中の日米共同訓練（28日まで）に18日から参加すると発表しました。事故原因は依然として「調査中」として何も明らかにされない中での発表です。

10日に始まった同訓練には当初オスプレイ6機の参加が予定されていましたが、オーストラリア沖で5日にMV

22オスプレイの墜落事故が発生したことを受け、訓練初日に予定されていたオスプレイの報道公開を含め参加は見送られていました。

オスプレイの訓練参加について小野寺五典防衛相は10日の衆院安全保障委員会で、日本共産党の笠井亮議員に対し、「米側と調整している。調整が整うまでオスプレイは使用しない」と答弁。途中からの参加もありうるとの考えを示していました。

「沖縄の負担軽減」を口実に訓練の全国移転が進められているオスプレイは、道内での訓練としては初めて使用されることになります。

オスプレイ墜落抗議決議を可決 那覇市議会が県内初

琉球新報 2017年8月15日 11:39



オスプレイ墜落事故への意見書と抗議決議を採決する那覇市議会＝15日午前10時20分すぎ、那覇市議会

那覇市議会（翁長俊英議長）は15日午前の臨時会で、5日にオーストラリアで発生した米軍普天間飛行場所属のオスプレイによる墜落事故について、オスプレイの飛行中止と配備撤回などを求める意見書と抗議決議を賛成多数（賛成24人、反対7人、退席8人）で可決した。日本政府の飛行自粛要請を米軍が無視したことへの意見書と抗議決議も賛成多数（賛成22人反対16人、退席1人）で可決した。

5日のオスプレイ墜落事故への抗議決議は県内で初めて。

オスプレイの飛行中止を求める意見書では、米軍普天間飛行場の県内移設断念、在沖米海兵隊の撤退、民間地上空での米軍機飛行と訓練の中止、事故原因の徹底究明、日米地位協定の抜本的改正なども求めた。意見書は共産とニライが提案。公明と無所属の会も賛成し賛成多数で可決した。自民は反対、なはの翼f協働と維新・無所属の会の2会派、無所属議員3人は退席した。

自民は、事故を受けて日本政府が求めたオスプレイの飛行自粛を米軍が無視したことに関する意見書と抗議決議を提案。事故原因の徹底究明と情報公開、民間地上空での米軍機訓練を行わないよう求めた。公明、なはの翼f協働、維新・無所属の会、無所属の会、無所属の奥間綾乃氏、小波津朝氏は賛成。仲松寛氏は退席し、共産とニライは反対した。【琉球新報電子版】